



～寒気とコロナを飛ばせ！春を呼ぶ「えんぶり」～

八戸市やその近隣の町村には「えんぶり」という豊作祈願のお祭りが 있습니다。みちのく五大雪まつりの一つで、お祭りの期間は組によって多少異なり、例年2月17日から20日まで行われていますが、新型コロナウイルス感染拡大を受け、残念ながら昨年続き、今年も中止となりました。

中止にはなりましたが、国の重要無形民俗文化財にも指定されている春を呼ぶと言われている「えんぶり」について、少し、ご紹介したいと思います。

えんぶりの舞

えんぶりを舞うことを「摺る（する）」と言います。

これは「えぶり」と呼ばれる農具を使って田んぼの土を平らにならすことを摺る（する）ということから、農具を持って舞うえんぶりの舞も「摺る」と呼ぶようになりました。

えんぶりの摺りは、馬の頭をかたどった烏帽子（えぼし）をかぶった太夫が、種まきから稲刈りまでの一連の稲作の流れを舞で表現するものです。

「えんぶり」は組によって「ながえんぶり」と「どうさいえんぶり」の二種類に分かれます。



ながえんぶり

うたや仕草がゆっくりしており、優雅な舞が特徴で、えんぶりの中でも古い型と言われています。主役を務める太夫（たゆう）・藤九郎の烏帽子には、真っ赤な牡丹の花や白いウツギの花などがついており、藤九郎は鳴子（なりご）、他の太夫は鍬台（かんだい・田畑を耕す鍬の柄）を手にしています。藤九郎と他の太夫の舞の動きが異なることも特徴です。



どうさいえんぶり

「ながえんぶり」とは反対に「どうさいえんぶり」はうたも仕草もテンポが速く、勇壮華麗なえんぶり。ジャンギという棒の先に金具のついたものを持ち、烏帽子に前髪という五色の房が付いているのが特徴です。藤九郎と他の太夫の舞が異なる「ながえんぶり」に対し、「どうさいえんぶり」は太夫全員が同じ所作で摺る（舞う）という違いがあります。

えんぶりの摺りの合間には「えんこえんこ」「松の舞」「えびす舞」「大黒舞」という祝福芸も行われ、魅力的です。子供たちの愛らしい姿もみられます。

ぜひ、機会がありましたら、皆さんも「えんぶり」をご覧になってみてはいかがでしょうか。

注)上記写真は、H31年2月に当院で行われた、えんぶり鑑賞会の様子です。

院内行事

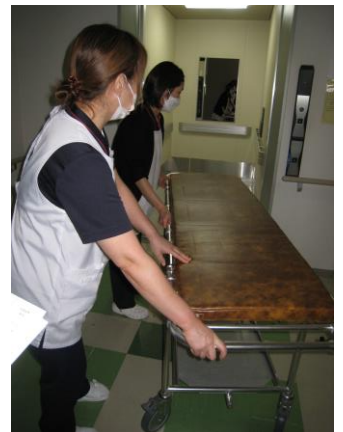
～ 総合避難訓練 ～

去る、10月13日(水)、当院では毎年恒例の、火災避難訓練を実施致しました。今回は、コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小した内容で、患者様の参加はなく、初期消火から消防通報までを行い、一連の流れの再確認を致しました。

また今回は、近年、大雨による水害が多くなっている為、洪水に対しての避難訓練も実施致しました。こちら、コロナウイルス感染拡大防止の為、規模を縮小し、一部職員と患者様による実施となりました。実際に車椅子やストレッチャーで避難を要する人数分、エレベーターを使用し、1階から2階への垂直避難を想定した避難誘導にかかる時間を測定してみました。

実際は、もっと慌てるなど、様々な事が起こるでしょうから、洪水での避難は、洪水が起こる前に、慌てず素早く確実に行わなくてはいけないことを、確認することが出来ました。

何はともあれ、私達職員にとって、災害が起きた際、何が一番大切であるか、改めて気付くことが出来た一日でした。



レクリエーション行事

～ クリスマス会 ～

12月8日、毎年恒例のクリスマス会が開催されました。患者様は楽しみにしていたのですが、今年も新型コロナウイルス感染予防対策の為、患者様による余興やカラオケ大会などは中止し、密集を避けるため、各病棟でクリスマス会を実施しました。

クリスマスの気分を堪能して楽しんで頂くために、各病棟でクリスマスの飾り付けをして、クリスマスソングをBGMに、患者様にプリンアラモードと飲み物を提供しました。少しでは



ありますがクリスマスの雰囲気を味わえた時間となりました。

通常通りの行事が出来ることを願い、今後も感染防止に努めていきたいと思います。



お知らせ

◎初めて受診される方へ

初めての受診の時は、電話予約をお願いいたします。予約が無い場合、ご希望の日に受診できない事もありますので、ご注意ください。

～こころの相談室よりお知らせ～ ～こころの悩みは十人十色、あなたの心に寄り添います～



平成23年10月1日から法人公益事業として、さくら病院相談室内に「こころの相談室」を開設し、多くの方から様々な御相談が寄せられています。今後も、是非お気軽に活用していただきたく、改めてご案内をいたします。

- ※ 予約受付日 毎週月曜日・火曜日・木曜日・金曜日
- ※ 予約受付時間 午前9時30分～午後3時30分（昼休み午前12時～午後1時）
- ※ 申し込み 事前に電話で御予約ください。電話 0178-70-2011
- ※ その他
 - ①電話相談は行っておりません。
 - ②御相談内容の秘密は、厳守いたします。
 - ③精神保健福祉士が対応いたします。

外来担当医師予定表

月	火	水	木	金
青 木 青 木(啓)	青 木 青 木(啓)	休 診	奥 野 武 内	奥 野 木 村
診療時間 9:00 ~ 12:00 (午後の外来診療は、行っておりません)				
受付時間 9:00 ~ 11:30				
診療科目 精神科、心療内科、内科				
休 診 日 水・土・日、祝祭日				



さくら病院理念

- ・ 人間愛と科学的根拠に基づく医療

基本方針

- ・ 患者さんに安らぎと幸せを提供する病院
- ・ 地域に貢献する病院
- ・ 職員が誇りを持って働ける病院

当院へのご意見・ご要望について

当院では、院内4ヶ所〔外来待合ホール・各病棟デイルーム〕に投書箱を設置し、患者さんやご家族の皆様のご意見・ご要望が述べやすいよう工夫しております。入院療養に際しまして、当院へのご意見・ご要望などがありましたら、お気軽に投書箱をご利用してください。

なお、口頭でのご意見・ご要望にも病院スタッフが対処できるようにしておりますので、その際は、スタッフに直接申し出ください。

皆様から寄せられたご意見・ご要望は、専門の委員会(苦情処理対策委員会)にて、定期的に協議した後、院内4ヶ所の掲示板に回答を掲示します。

〒039-1105

青森県八戸市大字八幡字上樋田8番地1

一般社団法人 信愛会



さくら病院

TEL 0178 (70) 2011

FAX 0178 (70) 2191

<https://sinai-sakura.com>

E-mail: sakurahp@circus.ocn.ne.jp

関連施設 社会福祉法人 ゆりの木園デイサービスセンター

編集後記

昨年度に続き、コロナウイルス感染症対策のために制限ある生活が続き、ストレスを感じることもあります。季節の変化や自然を味わう、楽しいと思える時間を過ごす、人とのつながりを感じるなど、心が豊かになるものや活動の大切さ改めて感じました。

また、今年度最後の広報誌となりました。来年度も引き続き、閲覧いただけると幸いです。1年間、ありがとうございました。

編集スタッフ

発行責任者 青木 直人

広報委員長 中嶋

副委員長 櫻庭

中村 松橋(加) 木村

萬徳 鈴木(里) 笹本

大久保(智) 工藤(彩) 斉藤